

様式4

令和5年度 学校運営協議会評価報告書1

鳥取県立米子養護学校

学校長 本間 隆之

評 価 日	令和5年6月1日（木）	
評 価・提 言		学校の所見・改善策
1 目標設定について ○表現力及び体力の向上。健康増進 ・卒後の体力づくりに課題がある。卒業をしても続ける場がない。その子の可能性を引き出していく選択肢が増やせるように。 ・在学中から部活動指導に関わることで居場所づくりにつながる。 ・		・体力・表現力向上にどう取り組んでいくかが本校の課題である。 ・高等部希望者が週1回部活動をしている。今後、外部指導をお願いすることで卒業後の居場所づくりにつなげていきたい。 ・9月21日に行われた学校保健委員会で意見を求め、「外で遊ばせるような活動を」「その子に合った運動量を」「楽しくできる運動を（ポイント制等ご褒美となるもの）」等助言をいただいた。 ・「遠くを見よう！外に出よう！」をテーマに遠方凝視のイラスト掲示をおこなったことで、イラストを探しにグラウンドや中庭に出る児童生徒も多くみられた。
2 評価項目と目標達成のための取組について 3 具体目標について 4 目標達成のための具体方策について ○時間外業務削減について ・段階を踏んではどうか。気づけるのに個人差があり、共有・開示がどれだけできるか。不要な仕事もあるかもしれない。共有がポイント。 5 その他		
・全体で交流する場があるのか？		・時間外業務の削減については、介護の精選・会議時kン何尾短縮、朝礼・終礼の廃止、サイトの活用等近年様々な取り組みをしている。 ・ワークスタイル（働き方・仕事のやり方）についてインタビューをし、サイトや職員室に掲載して共有をしている。 ・今年度より、5月実施のスポーツフェスティバルで中高等部の交流種目を新設したり、閉会式で保護者と一緒にダンスを踊ったりした。

